

# 自信をもって自らの人生を切り拓いていく子供を育てる杉並区の教育 —杉並が育てる杉並の子供たち—



なぜ、行わなければならないのか？ 何のために行うのか？

<p><b>基盤づくり</b></p> <p>生涯に渡って豊かな人生を送る基盤・素地（基礎・基本）を9年間で形成します。</p>	<p><b>調和のとれた人間形成</b></p> <p>人間として身に付けるべき内容（学力・心・体力）は、いつの時代でも変わりません。</p>	<p><b>自治体の責任</b></p> <p>義務教育9年間の教育を充実させることは、自治体（杉並区）の責任です。</p>
--	---	--

<p>○子供の成長のとらえ方や見方に違いがある。 （例）小学校では、それぞれの子供に合ったきめ細かな指導、中学校では自主性を尊重した指導</p> <p>○生活指導に対する考え方に違いがある。（例）小学校では学級中心の指導、中学校では学校全体、チーム中心の組織的な指導</p> <p>○学習に対する考え方の違い（例）中学校では高校受験を意識した指導となりがち</p>	↓	<p>○中学校で必要とすることが、小学校で十分に定着されていない。 （例）中学校の学習に必要な知識、技能等が定着していない。</p> <p>○小学校で身に付けたことが、中学校で伸ばされていない。 （例）小学校で身に付けた体力が中学校で維持されない。</p> <p>○それぞれの校種の内容を十分に理解した指導がされていない。 （例）算数科と数学科の違い</p> <p>○支援を要する子どもたちにかかわる対応が一貫していない。 （例）個別の教育支援計画の策定と引き継ぎ</p>
--	---	--

## 小学校・中学校が一貫して教育を行うことが必要

→

義務教育の背骨

9年間を通した学習指導、生活指導、進路指導など

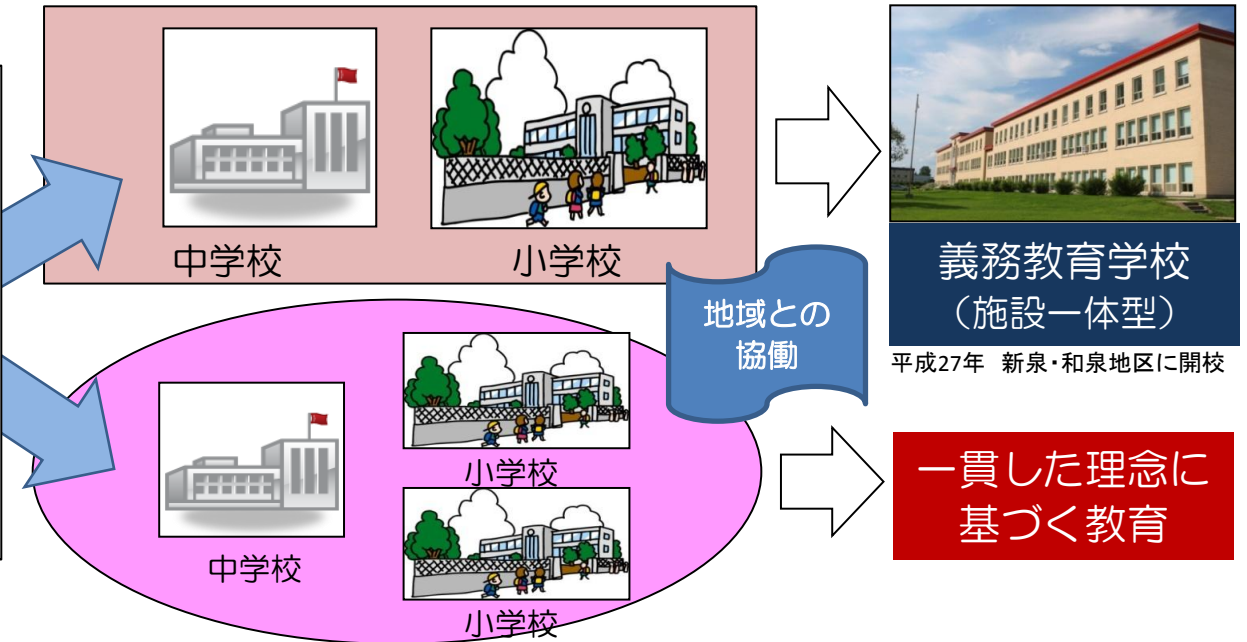
小学校から中学校への円滑な接続

例)

- コミュニケーションの力を育てる英語教育
- 望ましい勤労観・職業観を育てるキャリア教育
- 表現力を高める言語活動
- 科学の力を育てるため学級担任から教科担任への継承・連続

### 実現する2つのタイプ

- 一貫したカリキュラムによる指導  
共通カリキュラムによる取組
- 指導の連続により、学びが連続された学習指導、生活指導  
一貫した指導による学力、規範意識、学ぶ意欲の向上
- 日常的な触れ合いにより、豊かな心の醸成  
異年齢の子供たちの交流、合同学校行事、地域行事の参加
- 個別の支援が必要な子供たちへの指導  
個別指導計画、個別の教育支援計画に基づく一貫した指導
- 保護者の日常的な交流  
小中学校保護者間の情報交換、相談
- 地域の日常的な学校へのかかわり  
学校地域支援本部の一元化



## 自信をもって自らの人生を切り拓いていく力 ～杉並基盤～

子供の成長順序立てた指導

それをより成果を確かめにくく身に付け

確かな教育基盤づくり